

後援会だより

支部長会議、支部長懇談会報告

後援会總務
かさはら笠原 和子
(ゆかり かずこ)
法学部

席いただいた半澤昌宏総務部次長からも丁寧に回答をいただきました。

また、前日の支部長懇談会は、支

部活動を活性化させるための創意工

夫、問題点など率直な意見交換の場となり、Uターン就職の難しさなど

昨今の厳しい就職状況を反映しての

話題も出されました。今回の支部長

懇談会・会議でいただいた役員の

方々の貴重な意見・要望を今後の支

部総会・支部活動に生かしていくよ

う、そして大学へ父母の思いを伝え

ていくことが大事な役割と改めて実

感した一日となりました。

6月5日(土)に外濠校舎6階薩埵ホールにおいて、2010年度法政大学後援会総会が開催されました。

来賓として、井上茂秋校友連合会副会長、石坂満後援会クラブ会長をお迎えし、全国から支部長をはじめとして多数の会員が出席されました。

また、総会前には、マンドリンクラブの演奏が行われました。

議事においては以下の議題が提案され審議のうえ全議案が承認されました。

1. 2009年度事業報告
2. 2009年度決算(案)
3. 2009年度監査報告
4. 2010年度事業計画(案)
5. 2010年度予算(案)
6. 会則の改正(案)
7. 2010年度役員の選出
8. 常任参与・参与の委嘱
9. 相談役・顧問の委嘱

新運営委員



マンドリンクラブの演奏

6月5日(土)に外濠校舎6階薩埵ホールにおいて、2010年度法政大学後援会総会が開催されました。



法政新会長から細川会頭に感謝状を贈呈



支部長会議で増田副長のあいさつ



全国36支部の役員



前日開催の支部長懇談会

総会報告

後援会總務
みずしな水品 孝一郎
(みずしな こういちろう)
情報科学部

今年も「子供の母校は我が母校」

を合言葉に、多摩キャンパスの学生がスムーズに移動が行えるよう、校内循環バスの寄贈や、3キヤンバスの図書の充実の支援など、積極的に学生への助成を行っています。



法政大学後援会運営委員 2010年度

写真前列向かって左から

笠原和子 総務、齊藤彦明 副会長、池邊裕 会長、久保田寿男 副会長、寺林治美 副会長

後列左から

掛巣 信樹 総務、渡邊 秀雄 総務、奥山 孝夫 総務、小池 旭 総務、水品 孝一郎 総務、小木曾 瞳子 総務、今村 浩 総務

2010年度 後援会役員

校友連合会との共同企画事業の 「法政フェスタ・絆」開催報告



後援会副会長

齊藤 彦明
(龍彦／工学部)

クル「アリオングコール」が校歌斎唱を指導。来賓の増田壽男総長からは学生、保護者、卒業生が集う新しい会を始めることに意義があるとのごあいさつをいただきました。続いて主催者の岩部金吾校友連合会会長、押山憲昭後援会会长があいさつしました。

4月24日（土）市ヶ谷キャンパスの外濠校舎薩埵ホールにおいて、法政大学校友連合会と後援会との共同企画事業「法政フェスタ・絆」が開催されました。今回の企画は学生・卒業生・父母らが一堂に会して、楽しいひと時を過ごしながら法政ファミリーとして新しい絆を結ぼうとするものです。

フェスタは3部構成、学生サークルの協力も得た初めての試みで、法政大学出身の内山久美子アナウンサーが司会を担当しました。実行委員会の高村嘉昭副実行委員長の開会あいさつで第一部がスタート。学生サー

生サークルの競演。最初に男性のツインキー・ボードユニット「BIG BELL」の素晴らしい歌と演奏があり、続いて4つの学生サークルが登場しました。音楽に乗って連続して展開される「マジシャンズクラブ」のマジック、迫力ある「合気道部」の演舞、そばをすする音がリアルな「落語研究会」の古典落語「時そば」、歌とギターの音色が美しい「アコースティックギターサークル」と続き、金森茂実行委員長の閉会のあいさつで盛り沢山のプログラムが終了。今回の企画が無事終了したのは、朝早くから舞台づくり、舞台進行、終了後の片付けまでサポートしてくれた市ヶ谷サークル支援機構（CSK）をはじめとする学生サークルの皆さん、スタッフとして協力いただいた校友連合会や後援会の役員及び関係者の皆さまのおかげです。参加した学生・卒業生・父母の皆さまとともに法政ファミリーとしての絆を強く実感した一日でした。



マジシャンズクラブ



合気道部



落語研究会



アコースティックギターサークル



BIG BELL フォトセッション

アリオングコール小唄歌客席挨拶道

二宮庄トークショー



体育会応援 4

【バドミントン部】

親からのメッセージ

(麻衣子／国際文化学部 原敏治

娘の部活も最終学年、試合の追かけも最終章に入りつつあります。小学生のころはお兄ちゃんの野球の応援が忙しく、あまり応援には行かなかつたよう記憶しています。現在選手として活躍できているのは、節目での不思議な縁による良き指導者との出会いに尽きるように思います。

す。娘の活発さに目をつけバドミントンに誘ってくれた小学時代のコート、公立学区内での運命的な出会いで全中大会まで連れて行ってくれた先生、その事がきっかけで東京からはとても遠い青森から声をかけてくれた高校の監督。多感な時期、親元を離れての寮生活の3年間は、何よりも良い人生経験になつたことでしょう。高校卒業後の進路は、バドミントン部の創部まもない法政に進学を決めました。少しのんびりとバドミ

にはプレッシャーで身体が動かず逃げ出したいと強く思つたそうですが、何とか最後のセットも逆転で華を添えてくれました。男子部員も含めた熱い応援には親も感動を覚えたものでした。また昨年の全日本インカレ団体戦では、創部4年目で全国の頂点に立つという離れ業をやってくれました。それもシングル2つを落としてからのダブルス2つを取り返し、最後のシングルは創部以来の功労者のキャプテンが勝ち取り感動的なドラマのようでした。このような場のメンバーの一員として携わつたことは誇りであり、これからの人

生に大きな思い出の一ページになることでしょう。

運を切り開いてきた娘の努力も大きいと思いますが、このような場に出会えた恩師の方とは偶然でなく必然的のようにも思えてなりません。不思議と人の縁には恵まれているようで喜んでいます。感謝、感謝です。これからのお進路も自分を信じて情熱を持ち続け、そして楽しむことを忘れないでほしいと願っています。そうすればきっと生涯スポーツにも繋がっていくと思います。私の追っかけも続けられればと勝手に願っています。



中学3年関東大会決勝

後援会ホームページのご案内

U

<http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方」をクリックしていただきてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。